



2008年2月15日 第6号

【事務所】

〒302-0026

取手市稲107-7

TEL/FAX 0297-73-8361

メール npo_ikiru@ybb.ne.jp

http://www7a.biglobe.ne.jp/~npoikiru/

この1年を振り返って

副理事長 宮脇 貞夫

平成19年度も残りわずかとなりました。3月までに来年度の計画をまとめ、決算、総会に向けての事務作業、そして大きな助成金が交付されたので事業報告と自己評価の作成があります。

さて、NPO法人活きるの平成19年度は、実質活動開始3年目の年でした。設立当初の目標にしたがって、1年目はNPO法人活きるが身体障害者の支援団体であることを地域の人たちに知ってもらうためにイベント開催を中心に行ってきました。2年目は引きこもりがちな身体障害者はもちろん他の障害者や高齢者の社会参加が容易にできるように、外出支援のための福祉移送サービスを立ち上げました。そして3年目にあたる平成19年度は、3ヶ年計画の最終目標である就労支援に力をいれ、新たな事業を立ち上げました。

1. 有償福祉移送サービス

これは、昨年度スタートしたのですが、事務所運営にできるだけNPO法人活きるの当事者メンバーに関わってもらえるように、運営システムをパソコンを使って自動化、簡略化しました。それによって障害があっても、作業ができるようになりました。また、このサービスを使って安価で障害者が家族に頼らずに通勤や外出、レクリエーション参加が可能になりました。活きるボランティアの優しい対応は利用者に大変喜ばれ日常の足として重宝されています。しかし運営資金が不足していて継続させることが困難な状態です。そこで、昨年末に取手市に財政支援を求めるために署名運動をし、約1600人もの協力があり、市に署名を添えて要望書を提出しました。取手市長および関係各所の英断を期待しています。

2. 笠間焼UD食器の普及・販売

笠間にある茨城県工業技術センター・窯業指導所「匠工房・笠間」のユニバーサルデザインの食器を研究するグループKDS (Kasama Design Spirits)に参加し、障害者支援団体の立場で、商品開発やモニターに協力し、そして作品を提供してもらって販売をさせてもらうことにしました。販売に当たっては障害者が関われる部分も多く特にインターネットで販売サイトを立ち上げて、そのWEB管理には重要な役割を担うことになります。(ネットショップはNPO法人活きるのホームページにリンクされています)

3. 印刷事業

今年度の大きな助成金から印刷事業に強力な設備投資ができました。印刷機や最新パソコン、ソフト、コピー機などが充実し簡易印刷事業を展開できる準備が整いました。印刷作業もパソコンを利用する作業が多く、障害者の参加が容易です。

4. 冷凍水産品の販売

最後に立ち上げたのが、冷凍水産品の販売です。福祉に理解のある鴨川の水産業者さんから月に1回予約を受けた商品を仕入れて、店頭販売、配達販売を始めました。店舗は会員さんが所有する新取手の家屋を無償で提供いただき、そこに助成金で購入した大型冷凍庫を設置し、毎月第4金曜日に販売を始めました。まだ、試験運用中で来年度から移送サービス利用者を中心に買い物に行けない方を対象に配達販売を本格的に開始します。

以上の4種類の事業を展開しましたが、今のところ収益を上げるには至っていません。来年度の目標はこれらの事業の充実を図り完成させ、自分にあった職種を選択してどんな障害を持った方でも働ける環境整備をしていくつもりです。

また、平成19年度は国や地方の福祉行政が大きく変わり、本来障害者を守るべき制度が苦しめる制度に変わった年です。障害者制度については従来の措置制度から障害者支援費制度、そして障害者自立支援法に変わって、障害者家庭の負担が増え、以前受けられていたサービスが利用できなくなったり、利用者には選択・決定権があるのですが制度が複雑になり理解が難しくなったことにかえって利用しづらくなりました。また、介護保険も同様に毎年悪い方向に変わっています。サービス提供者は行政と利用者の板ばさみになり、運営から撤退する所も少なくありません。最も大きな影響を受けるのは当然利用者なので、地方行政は独自にニーズに応える努力が必要であり、そして、障害者は自分たちで生活を守る構えが必要になっています。NPO法人活きるは取手の障害者支援団体で構成している障害者協働支援ネットワークと一緒に取手市が障害者にやさしい町になるよう、これからもがんばっていきます。

この3年間、目標に向かって突っ走ってきた感があります。来年度は立ち上げた事業を完成させるとともに本来の目標である楽しい活動を心がけて、障害者が住みよい町の基盤つくりとNPO法人活きるの発展を目指します。

ご存知ですか？

健康保険で在宅マッサージが受けられます！

お問い合わせ、ご相談などお気軽にご連絡ください。

オリエンタル治療院

〒301-0041 茨城県龍ヶ崎市若柴町 2183-9 TEL 0297-65-0985 FAX 0297-65-3323

◆◆新規事業について◆◆

NPO法人活きるの重要な活動のひとつが就労支援事業です。障害者であるが故に就労の機会が断たれている現状の中で、自分たちの力で自分たちの生活を守る必要性があります。そんな中で障害者の就労支援を積極的に行うために、独立行政法人福祉医療機構に助成金を申請したところ、運良くNPO法人活きるの事業計画が評価され助成金が交付されることになりました。

それも190万円という大金です。貧乏NPOにとって夢の様な金額です。

その助成金で必要な備品を購入し、計画している事業の基盤を1年で築くことにしました。おかげさまで、平成19年の年末には計画した事業が全て立ち上げられ、本格始動に向けて準備が整いました。

印刷事業には、最新ノートパソコンとソフト、そして印刷機を購入し、ポスターやチラシなどの大量印刷が可能になりました。担当の副理事長の鈴木は印刷やデザインの経験があるのに今まで就労の機会に恵まれなかったのですが、設備が充実したことでNPO法人活きるでその技術を生かして就労できる環境が整いました。



次に、障害があっても従事でき女性でも働ける場として、笠間焼のUD食器と冷凍水産品の販売を手がけました。そのために助成金で展示棚、大型冷蔵庫、業務用冷凍庫、その他販売に必要な多くの備品を購入しました。そして、会員さんの持ち家を提供していただき、そこで販売を始めたのです。場所は新取手のドラッグストアセイムスさんの前でとてもよい

場所です。みんな初めての経験なのでまずは手探り状態で始めました。基本的には予約販売で毎月第4金曜日に予約をいただいた品物をお渡ししますが、毎週金曜日の午後に開店し、在庫の販売もします。4月にはお買い物に行けない高齢者や障害者の方に配達販売の本格



運用を目指し準備中です。笠間焼を提供してくださるのは茨城県工業技術センター・窯業指導所のUD



研究グループです。そして、水産品は福祉に積極的な鴨川の「丸伊」という業者さんで新鮮でとても美味しく、そして安い！ぜひ、ご賞味いただきたいと思います。また、その販売所は集いの場としても活用して、お茶会や陶芸教室、手芸教室なども開きたいと考えています。

お近くにお越しの際は、ちょっと立ち寄ってお茶でも飲んでいってくださいばうれしいです。詳細はNPO法人活きるのホームページをご覧ください。

NPO法人 **活きる** の **魚販売**

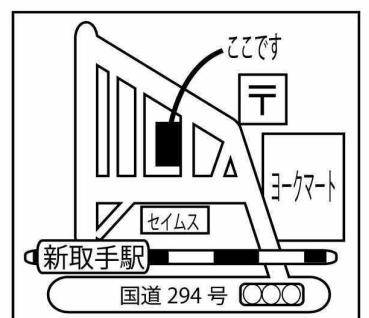
鴨川直送冷凍水産品

<例> 魚（アジ・サバ等）のひらき

- ・手切り
- ・自然塩
- ・天日干し
- ・食品添加物なし

- ・毎週金曜日 PM1:00～PM4:00
- ・毎月第4金曜日 入荷
- ・配達いたします。
- ・お問い合わせ
TEL 080-6720-0196
FAX 0297-73-8361

※ご来店のお客様は定価の1割引いたします。



◆取手市健康福祉まつり◆

平成 19 年 12 月 1 日 (土)

取手市では健康増進を目的に毎年健康福祉祭りというイベントを開催しています。NPO法人活きるも設立以来、毎年参加して活動のPRをしています。

今年も、今、力を入れている笠間焼のユニバーサルデザイン食器を地域の方に紹介しました。普段、なかなか手にすることが無い介護食器を、実際に触って使い心地を試し、笠間焼の芸術性を見て、KDSの作品のよさを感じてもらいました。

さて、今年のお祭りは快晴で、この時期にしてはポカポカ陽気の小春日和になりました。用意した笠間焼をならべ、そしてNPO法人活きるの会員さんが焼いた食器も同時に陳列しました。その横ではみんなで持ち寄った不用品のバザーコーナーも準備しました。のんびりと活動の紹介、PRができました。来られる方は、だいたい健康や福祉に関心のある方で、私たちの活動を知ってもらうとてもいい機会でした。



◆◆ ネットワーク 2007 ◆◆

平成 19 年 11 月 17 日 (土)

ネットワークフェアとは取手市が毎年開催しているもので、行政と市民が協力して開催することでネットワークを築こうというものです。取手市で活動する団体や公共事業者、一般市民が模擬店や手作り野菜、活動の紹介、フリーマーケットなどを催します。今年もNPO法人活きるは笠間焼のユニバーサルデザインの紹介・販売とバザーを出店しました。車椅子の参加者を迎えに行き、車椅子の会員4名を含めて勢ぞろいです。



会場には色々なアトラクションがあってとてもにぎやかで楽しいです。会場に来られる方は超安値の野菜やバザー、フリーマーケットで売っている50円、100円の出物が目的の方がほとんどで、NPO法人活きるで販売している笠間焼はそれらの人たちにとってかなり高価な品物に見えたことでしょう。予想通り、バザーの方は開店と同時に人だかりができました。笠間焼のほうは寂しい・・・。毎年、このイベントはのんびりとした感じで進行し、多くの人と交流でき、また、市民の方に「活きる」の活動を紹介できるととてもいい機会だと思います。



名刺 50枚 800円から

写真入りカレンダー (500円)

チラシ ロゴマークなど

B-Oカラーポスター 1枚からできます。

印刷 一般

活きるプリント

〒302-0026
茨城県取手市稲107-7
TEL/FAX 0297-73-8361
メール npo_ikiru@ybb.ne.jp

♪クリスマスコンサート♪ ♪ ♪

去年暮れ12月22日、交流センター内多目的ホールにて毎年恒例になりつつある「クリスマスコンサート」が開催されました。出演していただいた2グループについては別項で紹介されているのでここでは省きますが、普段、お目にかかれないお琴の音色に聞きほれました。特に現代の曲目をアレンジしたアンサンブルに思わず身体がスイング。次はオカリナ。これもアンサンブルにするとこんなにもいい音が出るものかと思いました。幼い頃口ずさんだ曲を会場全員で唄うのもいいものですね。生きるも今年後半は目の回るような忙しさでしたが、一時の息抜きになったのでは、と思っています。

- 琴演奏：「箏さらりん」～時空を超えて奏でる ポップな琴の音色～従来の箏(こと)のイメージにとらわれず、独自の新しいスタイルで誰にでも気軽に楽しんでもらえる邦楽を目指しています。演奏曲は箏曲、童謡、ポップス、ラテン、クラシックなどあらゆるジャンルの音楽を演奏しています。
- オカリナ演奏：「風の音(ね)」つくばみらい市を中心に活動している主婦グループ。美しいアンサンブルで魅了してくれます。オカリナをバックにももしろい語りも。今回はおならネタで大いに笑わせてもらいました。(染野記)



※※※

GRAND PRIX

お正月気分が抜け切らない1月6日午後1:00予選が始まった。昨年まではタイムで競ったが、今回からは予選方式で上位3者を決め、決勝戦を行うことにした。今回は、昨年暮れに「茨城よみうりタウンねっど」に「生きるGP」の記事が掲載され、読んだ親子さんが参加した。一周約50mを2周で競われた予選、敗者復活戦など今までにないレースの醍醐味感を味わったことおもう。レースは、ベテランドライバーは次々と脱落し、終始若手がレースを引っ張る形で決勝戦(5週)となった。若手3人が勝ち残り、3台がスタートラインに並んだ。スタートの合図を送る手にも緊張が走る。スタートをうまく切りぬけたNくんが安定した走り、1位でゴールした。1位には賞品としてラジコンの「ピックアップトラック」を渡された。2位と3位には茨城ヤナセより記念品が。次回は、6月ごろに開催予定。

最後に、「生きるGP」を開催するにあたって、ご協力いただいた方々には厚く御礼申し上げます。(鈴木 記)



陶芸家手作りの 使いやすい 楽しく食べられる

笠間焼 介護食器

- ★新取手営業所にて、展示・販売中
お気軽に、お越しください。
- ★営業日 毎週金曜日 PM1:00～ PM4:00
- ★お問い合わせ
TEL 080-6720-0196
FAX 0297-73-8361

オーダーメイドも承ります

生きるの
ホームページから
購入できます!



おめでとう

去る1月13日、取手駅ビル内にある「つきじ 植むら」において、活きる新年会が開かれました。当日は風の強い寒い日でしたが、28名の皆さんが出席されました。簡単な挨拶の後、まずは乾杯。続いて「しゃぶしゃぶ 食べ放題」そしてお刺身を頂き、各自、お酒も入って宴も盛り上がった頃、出席者全員の自己紹介。各自、活きるでの分担を入れての自己紹介は初めて出席された方には、名前と顔を覚えて頂く絶好のチャンスだったのではないのでしょうか。日頃、なかなか一同に会して出会うことがありませんが、年に何度かは企画したいとも考えております。（染野記）



『障害者自立支援法』?? Part-5

…キューピットの独り言…

知ってました?! 再三、「介護保険」と「障害福祉サービス」を将来一緒にするんだと国が騒いでいたにもかかわらず先日国から出された資料には「将来的にも介護と障害の制度は切り離して考えていく」と明記されていました。いったい国は人間をどう考えているのでしょうか?? 紙切れ一枚で人の生死を左右させてしまうんだ。利用者本位からどんどんかけ離れていく…。もしかして国の中枢で働いているほとんどの方々が卒業された東大・法大という学校は「人間ロボット」という教育方針なのでしょうか。

メディアで今、「介護職がない。国よ、どうにかしろ」とまくし立てていますが、はたして現実はどうなのか? あるヘルパーさんに聞いたところ、国にも責任があるがメディアもコロナ事件では散々介護職の悪いところしか報道しなかったからと言っておりました。

なぜ、障害福祉サービスの事業所が極端に少ないのか? 当然、経営が成り立たない報酬単価であるためです。だから、税金を回し易い社協がサービスを提供しているのです。ただ、サービスの質はというとはたして…。このまま国の通知ひとつでコロナ利用者不在の制度になっていいのかわからなくて思っているのは私だけ??

優しいキューピット



●過去最高益って？

近頃新聞に、**今期は過去最高益**という文字を見かける。海外輸出関連会社もしくはその関連会社の決算報告であり、国内中小企業はつぶれる所が多いとも書いてある。最高益の会社と株主と僅かな正社員だけが恩恵を受け、その他は安い給料で雇われたパート・アルバイト。例えば車の会社は「国内販売が振るわない、特に若者の車離れが著しい」というが、よく考えてみてくれ。若者が1日働いても生活できないためネットカフェで寝泊まりしている。そんな状態ではとても無理な話だ。会社の儲け（当たり前だが）だけを考えるだけでなく、社会全体を見てどうすれば売れるかを考えてみてもいいのではないか。車の大量生産方式を作ったヘンリー・フォードは、自分の会社で作った車を売るため従業員の賃金を上げたという話。地球環境にやさしいとうたっているが、それは当たり前である。生産効率だけを求めるだけでなく、人にやさしい会社になってほしいと思う。健全者と障害者が共に安心して働き、安心して生活のできる環境作りにも目を向けてほしいものである。

（鈴木記）

●ありがとう

助成金

取手市	町づくり支援事業	50,000円
社協	社協助成金	50,000円
独立行政法人福祉医療機構		1,900,000円
共同募金		50,000円
歳末助け合い		50,000円

寄付金

オリエンタル治療院	120,000円
移送利用者	太田様、堀内様、鈴木様より

寄付

茨城ヤナセより 賞品として 折り畳み椅子・傘・小物入れ



編集後記

今回は、女性が編集に参加していただきました。如何ですか。ご意見をお聞かせ下さい。また、記事にしてほしいことなどがありましたらご連絡ください。お待ちしております。

（鈴木記）

NPO 法人活きる 窓 開けて

平成20年2月15日発行

発行所 NPO 法人 活きる

発行者 染野和成

編集者 宮脇・鈴木・石浜

連絡 TEL/FAX 0297-73-8361

Eメール npo_ikiru@ybb.ne.jp

http://www7a.biglobe.ne.jp/~npoikiru/

活動会員・賛助会員を募集しています

一緒に NPO 法人活きるの活動に参加してみませんか
皆様のご参加をお待ちしています。

活動会員 個人・年会費 2,000円

団年・年会費 3,000円

賛助会員 個人・年会費1口1,000円 1口以上

団体・年会費1口2,000円 1口以上

（活動・賛助会員の総会議決権はありません）

振込先

・銀行口座 中央労働金庫 取手支店

普通預金 NO 6385476

郵便振替 00190-7-778948

・どちらも口座名義は「特定非営利活動法人活きる」